
革新者と魔法少女達の出会い

おなか痛い

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

革新者と魔法少女達の出会い

【Nコード】

N7227X

【作者名】

おなか痛い

【あらすじ】

ELSとの対話から早2年。ヴェーダからの指示で謎のエネルギー反応を確かめに行った刹那は、突如正体不明の光に飲み込まれてまったく異なる世界へ。そこで刹那は新たな戦いに巻き込まれていく……

作者は素人中の素人で、この作品は処女作です。

さらにこの小説は作者の勝手な解釈を含んでる場合があります。それでもいいという人は見ていってください。

プロローグ（前書き）

どうも、おなか痛いです。

生まれて初めての小説投稿です。

グダグダになると思いますが、生温かい目で見てください。

プロローグ

西暦2366年、ELSとの対話を終え人類との共存から2年が経過していた。

今ではすべての人類が『イノベーター』となっており、そして『ELS』と共生した

『ハイブリッドイノベーター』が少しずつ増えていつている。

そんな中ソレスタルビーイングのガンダムマイスター、刹那・F・セイエイはヴェーダ

から正体不明のエネルギー反応が観測されたとの情報が入り『ELSクアンタ』を駆りそのポイントまで向かった。

刹那「反応があったのはこのあたりのはずだが？」

だがそこには何も無く宇宙空間が広がっているだけである。

刹那「どういうことだ・・・？」

不思議に思いつつ地球に帰還しようとした瞬間、突然刹那の周りの空間が光だした。

刹那「なんだこの光は！？量子ワープとは違う！くっ、コントロールが効かない！！」

刹那はそのまま光に飲まれていった。

第1話 飛ばされた先で・・・

刹那「うつ・・・。ここは・・・?」

目を覚ますと、刹那は森の中にいた。

刹那「何故俺は森の中に?宇宙にいたはずでは?」

考えていると刹那はあることに気付く。

刹那「つ!?そうだ!クアンタはどこに!?!」

???「ここです、マスター。」

刹那「誰だ!?!」

そう思いいつの間にか装備されていたブレスレットに目をやると。

???「私です、ELSクアンタです。」

刹那「クアンタ・・・なのか?」

クアンタ「はい、茫然としているところ申し訳ないのですが、現在の状況を説明します。」

刹那「つ、頼む。」

クアンタの言葉で刹那の表情が戻る。どうしてクアンタがこのようなブレスレットに変わったのか疑問に思ったが、今は聞かず自分の身の

回りで何が起きているのかを確かめるのが先決だと思った。

クアンタ「マスターは光に飲み込まれたのを覚えていますか？」

刹那「ああ。」

クアンタ「マスターが起きるまでの間、光に飲み込まれていてから
のこと

この世界について調べていました。」

刹那「何かわかったことは？」

クアンタ「はい、率直に申し上げますと今ここにいる世界は私たちが暮らして

いた世界とは別の世界、つまり異世界です。」

刹那「なっ!?!？」

クアンタ「もちろん地球という世界も存在しているのですが、私たちの知っている

地球とは全く違います。」

刹那「。。。。。」

言葉を失う刹那。量子ワープでELSの星に行ったことはあるが、それとは全く別の

ことが今自分の身に起こっている。

刹那「他に分かったことはあるか？」

クアンタ「はい、私たちが今いるこの世界は『ミッドチルダ』と言
い魔法という技術が
発達しています。」

刹那「魔法・・・？」

クアンタ「はい、しかし子供の絵本に出てくるような魔法とは根本
的に違うようです。

大まかに説明すると、魔法を使う人間のことを『魔導師』と言い魔
力を持つ人間には

『リンカーコア』というものが存在し、『デバイス』というものを
駆使して魔法を使う
ようです。」

刹那「ずいぶんと機械じみているな。」

クアンタ「私もそう思います。」

刹那「話が逸れたな。それで？」

クアンタ「いえ、今のところ分かっているのはそれだけです。」

刹那「そうか、なら次はおまえのことを教えてくれ。」

クアンタ「わかりました。と言っても私も詳しいことは分からない
のですが・・・。」

刹那「どういうことだ？」

クアンタ「この世界に来た際にいつの間にかこの姿に変わっていた

んです。ちなみに
今の私はデバイスの待機状態になっているようです。」

刹那「そうか……。」

ますます謎が深まっていくばかりである。とりあえず今後のことを考えていたら

突然クアンタが何かの反応を捉えた。

クアンタ「マスター！正体不明の機影が30機ほどこちらに接近中です！！」

刹那「何！？」

クアンタ「私たちで対処しましょう！」

刹那「しかし、リンカーコアというものが俺にはあるのか？」

クアンタ「はい、この世界に来てからマスターにリンカーコアの存在を感知しています。」

そうこう話をしてる間に先ほどの機影が到着したようで、いきなり刹那たちに
むけて攻撃を放ってきた。

刹那「くっ！」

なんとかよける刹那。

クアンタ「マスター！大丈夫ですか！？」

刹那「ああ、だがクアンタ、さっきお前は『私たち』で対処すると
いったな？どうすればいい？」

クアンタ「簡単ですマスター！私の名前を言った後に『セットアッ
プ』と言うのです。」

刹那「了解した。」

そして手のひらを開けたまま右腕を前に出す。

刹那「クアンタ、セットアップ！」

革新者の新たな戦いが始まる・・・。

第1話 飛ばされた先で・・・（後書き）

どうも、おなか痛いです。

刹那の口調こんな感じであつたますかね？

誤字・脱字等がありましたら指摘のほどよろしきお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7227x/>

革新者と魔法少女達の出会

2011年10月19日05時07分発行